

第3回 廃棄物リサイクル分科会

平成27年3月25日(水) 15:00～
東海大学交友会館「望星の間」



第3回分科会を開催し、今後の取り組みの方向性を決定しました。

本会では、分科会委員のユニーグループ・ホールディングス様、味の素ゼネラルフーズ様より「3Rの取り組み」についてご講演をいただきました。小売業における取り組みとメーカーによる取り組みをご説明いただき、それぞれの企業努力や様々な工夫がなされているなど、理解を深めることができました。続いて事務局より、これまでの整理と調査結果などについて説明を行い、今後の取り組みの方向性について、下記の通り進めていくことといたしました。

より合理的な循環型社会の形成を目指し、生活に密接し、生活産業に関わる事業者にとっても関係が深い「容器包装リサイクル」について取り上げ、容器包装の物質特性や日常生活・経済活動のバランスの中で合理的な3Rの進め方を生活者一人一人が考えることにつなげるため、

◎容器包装ゴミの分別収集・リサイクルに関する、

- ◆各主体(家庭・自治体・企業)における現場の実態
 - ◆制度上の課題・疑問
 - ◆会員企業・団体における3Rの取り組み好事例や課題 など
- をとりまとめ、問題提起とともに世の中に広く発信する。

〈講演〉

1.「まるごと地球をとっておこう …めぐる・つづく・いっしょに…」

ユニーグループ・ホールディングス株式会社
執行役員 グループ環境社会貢献部 部長 百瀬 則子 様



●概要

消費者に一番近くで企業活動をしているスーパーとして、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現した持続可能な社会の構築を目指した活動などを紹介いただきました。

- ◆店舗から排出される廃棄物の発生抑制を図るための取り組み
- ◆容器包装のあり方を見直し、お客様と一緒に容器包装ゴミを減らす取り組み
- ◆「環境にやさしいお買い物」を通して、お客様と一緒に持続可能な社会を目指す環境配慮型店舗について など

2.「AGFにおける3Rの取り組みのご紹介」

味の素ゼネラルフーズ株式会社
環境・安全グループ統轄マネージャー 稲木 幹也 様



●概要

全国に営業拠点を持つコーヒーを始めとする嗜好飲料メーカーとして、地球環境の保全に配慮するとともにお客様の利便性までも考えた 3R の取り組みなどを紹介いただきました。

- ◆食品メーカーの 2000 年問題として捉えた、容器包装リサイクル法の完全施行に対する取り組み
- ◆容器包装 3R 推進の大前提である包装の考え方や商品設計について
- ◆具体的な商品における 3R の取り組みや自治体活動との連携について など

